



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債 利回り	WTI 原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万 BTU)
	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り			
2020年12月31日	812.30	11.11%	7,759.35	1.53%	20,258.86	3.36%	0.91%	48.52	2.54
2021年3月31日	990.61	8.74%	8,238.48	1.50%	21,944.84	3.19%	1.74%	59.16	2.61
2021年5月28日	1,141.80	7.66%	8,738.77	1.42%	23,921.42	2.90%	1.59%	66.32	2.99
前月比	15.3%	-1.08%	6.1%	-0.08%	9.0%	-0.29%	-0.15%	12.1%	14.5%
年初来	40.6%	-3.45%	12.6%	-0.11%	18.1%	-0.46%	0.68%	36.7%	17.6%
前年比	43.6%	-3.03%	40.3%	-0.52%	32.2%	-0.89%	0.94%	86.9%	61.5%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

5月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、上昇しました。

上旬は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、欧米で経済活動が正常化しエネルギー需要が増えるとの見方が強まったことなどから、MLP市場は上昇しました。

中旬は、コロナル・パイプラインが運営する石油パイプラインがサイバー攻撃を受けて一時停止したことなどから、MLP市場は上値の重い展開となる場面が見られましたが、経済活動の正常化に伴う景気の回復期待が根強い中、概ね底堅い動きとなりました。

下旬は、原油価格が堅調となる一方、利益確定の売りが見られたことなどから、MLP市場は小幅なレンジで推移しました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日～2021年5月28日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- 5月は、多くの米国MLP・中流エネルギー企業が2021年1-3月期の決算を発表（右表参照）。MLP・中流エネルギー企業の利益（調整後EBITDA）は、概ね市場予想を上回る。
- （5月7日）米石油パイプライン最大手のコロニアル・パイプライン（テキサス州～ニューヨーク州間の約8,800kmのパイプラインを運営）はサイバー攻撃を受けて操業を停止。同パイプラインは5月12日に操業再開。
- （5月21日）コロンビア特別区地裁はダコタ・アクセス・パイプラインの環境調査期間中の操業継続を認める判断を下す。同地裁は2020年7月に裁判所指定の環境調査が行われる間、パイプラインの操業停止を求める命令を下したが、控訴裁判所によって環境調査期間中の稼働を認められていた。同パイプラインは米国のエネルギー輸送大手Energy Transfer LP(ET)などが所有。

米国MLP・中流エネルギー企業の2021年1-3月期の決算状況

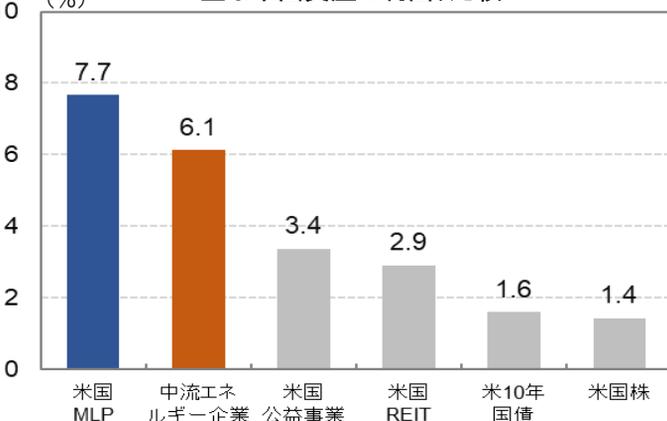
銘柄名	公表日	調整後 EBITDA	前年比	市場予想対比
Enterprise Products Partners LP	5月3日	22.5億ドル	+13.5%	↗
Williams Companies	5月3日	14.2億ドル	+12.1%	↗
MPLX LP	5月4日	13.5億ドル	+4.5%	↗
Plains All American Pipeline LP	5月4日	5.5億ドル	-31.3%	↗
Cheniere Energy Partners LP	5月4日	7.8億ドル	-1.6%	↗
EnLinc Midstream LLC	5月4日	2.5億ドル	-4.2%	↗
Genesis Energy LP	5月5日	1.4億ドル	-12.3%	概ね一致
DCP Midstream LP	5月5日	2.8億ドル	-14.3%	↗
Targa Resources	5月6日	5.2億ドル	+20.5%	↗
Energy Transfer LP	5月6日	50.4億ドル	+91.3%	↗
Western Gas Midstream Partners LP	5月10日	4.4億ドル	-13.7%	↘

《相対的に高い配当利回りと割安なバリュエーション》

（出所）各種報道等 ※2021年5月末時点

- 米国MLPと中流エネルギー企業の予想配当利回りは、米国10年国債や米国株等の他資産と比較して相対的に高い水準を維持しており、低金利環境下で魅力的な投資対象と考えられます。
- 新型コロナウイルスのワクチン普及による経済活動正常化への期待や原油価格の上昇などを背景に、米国MLPは年初来で+40.6%と堅調に推移している一方で(P1表参照)、バリュエーション（株価キャッシュフロー倍率）は過去平均を下回って推移しており、割安な水準といえます。米国MLPは高いインカムや割安なバリュエーションにサポートされ、今後も堅調なパフォーマンスが期待されます。

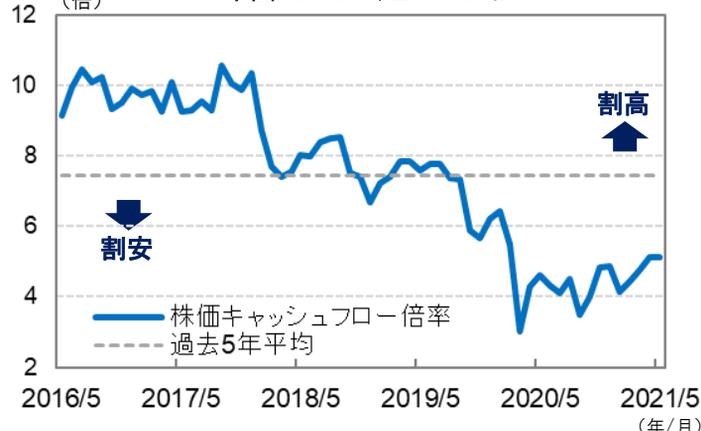
主な米国資産の利回り比較



（出所）ブルームバーグ、2021年5月末時点

※米国MLP：アリアンMLP指数、中流エネルギー企業：アリアン中流エネルギー指数（中流MLP銘柄含む）、米国公益事業：S&P500公益事業株指数、米国REIT：FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、米国株：S&P500指数

米国MLPのバリュエーション*



（出所）ブルームバーグ（期間）2016年5月末～2021年5月末

※米国MLP：アリアンMLP指数

*バリュエーションは株価キャッシュフロー倍率（＝直近株価／予想キャッシュフロー（当年度））、1株当たりのキャッシュフローの何倍まで株価が買われているかを示す

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。